

放送番組の海外展開から、
日本の製品・サービスの
ビジネス普及拡大へ

一般社団法人 放送コンテンツ海外展開促進機構



BEAJ
Broadcast Program
Export Association of Japan

BEAJが取り組む 放送コンテンツの海外展開の支援事業

一般社団法人 放送コンテンツ海外展開促進機構 (BEAJ)

1. 概要：

放送局や権利者団体、大手総合商社、広告会社などが中心となり、日本の放送コンテンツの海外展開促進を目的として、2013年8月23日に設立

2. 構成：

理事長	岡素之（住友商事株式会社 名誉顧問）
理事社	放送局 NHK、日本テレビ放送網、テレビ朝日、TBSテレビ、テレビ東京ホールディングス、フジテレビジョン、スカパーJSAT、WOWOW
	権利者団体 日本音楽事業者協会、日本芸能実演家団体協議会、日本レコード協会、映像コンテンツ権利処理機構
	関係業界 住友商事、伊藤忠商事、電通、博報堂DYメディアパートナーズ、日本民間放送連盟

3. 会員社： 70社（2019年1月現在）※うち地方局が35社

4. 運営： 会員社からの会費収入と事業収入で運営

<北海道>

札幌テレビ放送
北海道テレビ放送
北海道放送
北海道文化放送

<東北>

仙台放送
山形放送
山形テレビ
テレビユー山形
テレビユー福島

<近畿>

読賣テレビ放送
朝日放送
毎日放送
関西テレビ放送
テレビ大阪
奈良テレビ放送

<中国>

山陰中央テレビジョン放送
テレビ新広島
岡山放送

<関東>

日本放送協会
日本テレビ放送網
テレビ朝日
TBSテレビ
フジテレビジョン
テレビ東京
東京メトロポリタンテレビジョン
スカパーJSAT
WOWOW

<九州・沖縄>

福岡放送
九州朝日放送
RKB毎日放送
テレビ西日本
長崎国際テレビ
大分朝日放送
琉球朝日放送

<四国>

高知放送

<東海・北信越>

新潟テレビ21
北陸放送
静岡朝日テレビ
テレビ静岡
中京テレビ放送
名古屋テレビ放送
CBCテレビ
東海テレビ放送



● 放送コンテンツ海外展開促進機構（BEAJ）の設立目的 BEAJ

Broadcast Program Expert Association of Japan

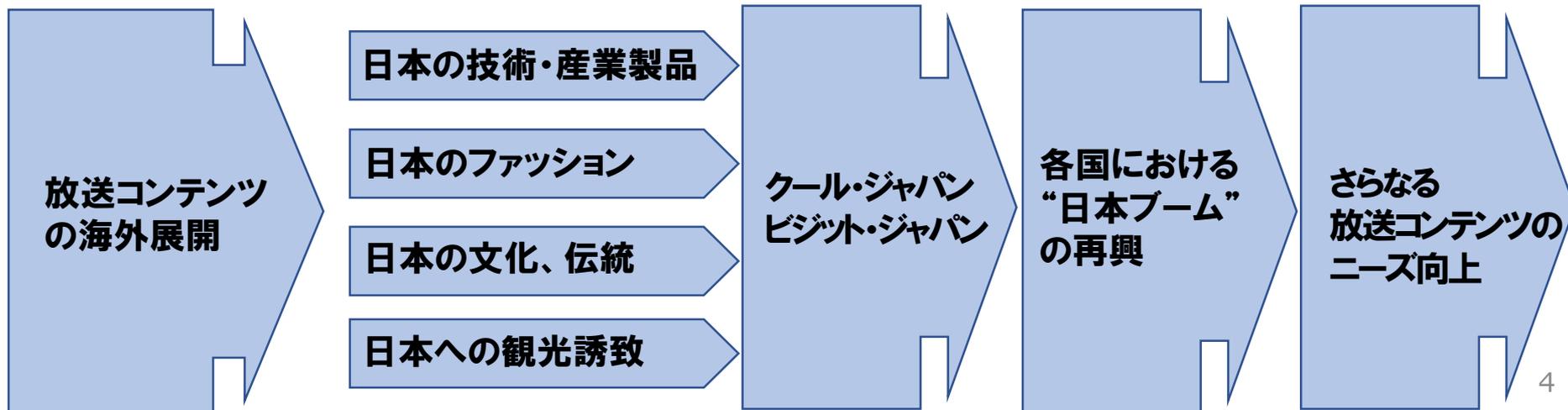
放送コンテンツの海外展開に対して、国の経済的なサポートを受けつつ、日本の放送コンテンツの国際競争力の向上を促進。アジアを中心とする各国での放送枠の大幅拡大を図る。



これにより、日本の技術、産業製品やファッション、文化、伝統、日本語などへの関心を向上させ、「クール・ジャパン戦略」に貢献するとともに、観光客の誘致への波及効果を引き出し、「ビジット・ジャパン戦略」にも寄与する。



「クール・ジャパン」「ビジット・ジャパン」の活性化により“日本ブーム”を創出させ、それによって日本の放送コンテンツへのニーズが高まるような『好循環構造』を構築する。



1. 放送コンテンツ海外展開モデル事業

2. コンテンツ国際見本市での放送局支援

3. 放送コンテンツの海外向けオンラインカタログサイト運営

4. 「BEAJ海外情報レポート」の発行

5. ローカル局等を対象とした研修会の実施

● 1. 放送コンテンツ海外展開モデル事業

成長著しいASEANを中心に、
放送コンテンツの海外展開モデルを構築し継続的に発信する

海外の放送局等と連携し、現地の有力な放送局で放送枠を確保



- 日本の魅力を紹介する番組を共同で制作し現地で放送
- 連携事業を現地で開催
→日本の食や地域製品の紹介、日本へのツーリズム紹介を行う



「クール・ジャパン」「ビジット・ジャパン」「地域経済活性化」等の
国家戦略に基づく成長の促進に寄与し、日本ファンを増やす。

● 放送コンテンツ海外展開モデル事業（大規模&小規模）

大規模型

	年度	大規模型事業	採択件数
1	H25年度補正予算	地上波テレビジョンを活用した放送コンテンツの海外展開に関するモデル事業	10件
2	H26年度補正予算	コンソーシアムによる地域経済活性化に資する放送コンテンツ海外展開モデル事業	13件
3	H27年度補正予算	放送コンテンツ海外展開総合支援事業	15件
4	H28年度補正予算	放送コンテンツ海外展開基盤総合整備事業	16件
5	H28年度補正予算	放送コンテンツ海外展開推進事業	5件
6	H29年度補正予算	放送コンテンツ海外展開総合強化事業	19件

78件

小規模型

	年度	小規模型事業	採択件数
1	平成25年度補正予算	放送コンテンツ海外展開強化促進モデル事業	20件
2	平成26年度補正予算	地域の創意工夫による地域経済活性化に資する放送コンテンツ海外展開モデル事業	21件
3	平成28年度当初予算	放送コンテンツ海外展開助成事業	21件
4	平成29年度当初予算	放送コンテンツ海外展開助成事業	22件
5	平成30年度当初予算	放送コンテンツ海外展開強化事業	26件

110件

総計188件

平成30年度大規模型事業 採択案件一覧（19件）

<フィリピン・イタリア>

- フィリピンの二大放送局の一つと山梨県を舞台としたドラマを共同制作するとともに、イタリアの人気グルメ番組で日本食文化を紹介。（フジテレビジョン）

<インドネシア・ベトナム・ミャンマー等>

- 京都府・愛知県・新潟市の農家での就農体験を通して、「日本の農業」、「農産物」、「日本食」の素晴らしさを発信。（WAKUWAKU JAPAN）

- 「カンペ」の指示に従って東京、静岡、熊本、沖縄の王道の観光地やマイナーなスポットを巡り、日本の奥深さを紹介。（静岡朝日テレビ）

- 日本とミャンマーのトレンドや音楽、両国の習慣・文化の違いなどを題材とした本格バラエティ番組。（日本国際放送）

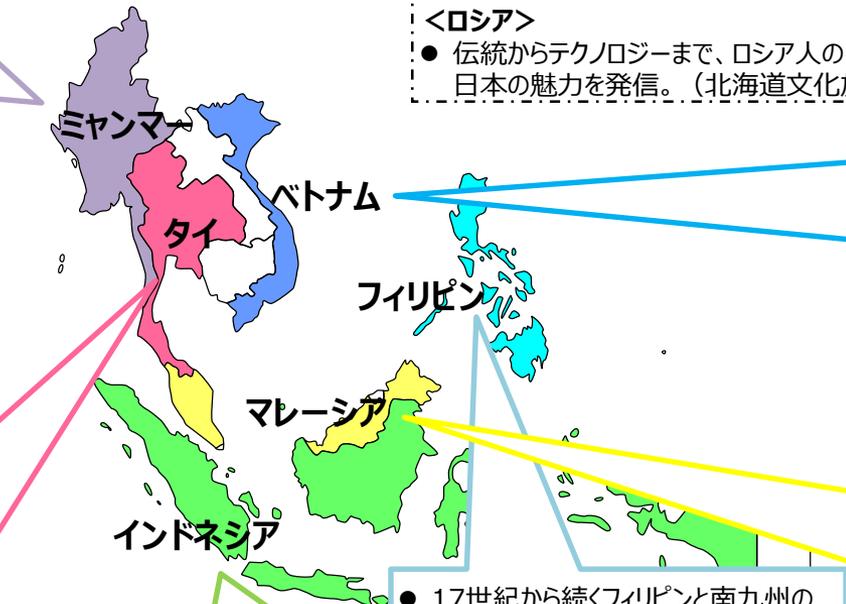
- 「新しい観光」、「地域産業」、「商品開発」をテーマに、日本海エリア独自の観光資源や現地とつながりのある産業を紹介。（山形テレビ）

- 現地の人気番組と連携して、東北、関東、沖縄を舞台に、ミッションをこなしながら史実や観光スポットを紹介。（テレビ朝日）

- 現地特有の社会問題を「健康・教育」の視点からスイーツを通じて紐解くアカデミックバラエティ。（テレビ金沢）

- 日本直送の食材をタイ人シェフ2名が調理して対決。オリジナルのお弁当とレシピの紹介を通じて日本産品・文化を紹介。（日活）

- 小学生向け学習誌と連携し、現地小学生のホームステイ、企業見学、職業体験等を通じて日本の生活、文化を紹介。（北海道テレビ放送）



- 現地の人気旅行ドキュメンタリー番組において、瀬戸内の島々を自転車で巡り自然・食文化・アクティビティを紹介。（伊藤忠商事）

【欧州】

<イタリア>

- 現地の人気旅行番組において、広域周遊ルート昇龍道を取り上げ、イタリアの視聴者に日本の魅力を発信。（CBCテレビ）

<フランス>

- 世界的な香りの専門家が、日本の香道を探求しながら“香り”にまつわる伝統等を紹介するドキュメンタリー番組。（日本テレビ放送網）
- 現地のグルメ番組において、北海道昆布と日本の出汁文化を「明治150年」と絡めながら紹介。（北海道放送）

<ロシア>

- 伝統からテクノロジーまで、ロシア人の日本に対する様々な興味や関心を掘り下げて日本の魅力を発信。（北海道文化放送）

- 日本人とベトナム人の交流を描き、お互いに感謝し合う様子を伝える過程で名所や食事など日本の魅力を発信。（朝日放送グループホールディングス）

- 「農泊」を活用し、リーズナブルな費用で楽しめる日本旅行を紹介。地域産業を含めた日本各地の魅力を発信。（TBSテレビ）

- ドローンや写真映像を活用しクルーズ船の寄港地を舞台に伝統と新技術など現代が融合した新たな日本文化を紹介。（山陰中央テレビジョン）

- マレーシアに向けて、東北6県全体の観光資源や食文化、ハラルへの対応も含めたおもてなし情報等を紹介。（山形放送）

※括弧内は補助金の申請主体を表す。ローカル局が主導又は参画する案件は、採択件数19件のうち14件。

●アニメの聖地巡礼

博報堂：スタジオジブリ作品

アニメツーリズム協会：「君の名は。」「ユーリ!!! on ICE」など



●日本の農業・農泊を取り上げた企画

TBSテレビ：「農泊」を活用し、リーズナブルな費用で楽しめる日本旅行を紹介。

WAKUWAKU JAPAN：就農体験を通して、日本の農業や日本食の素晴らしさを発信。

●新しいブーム、習慣を生み出す狙いを持った企画

テレビ金沢：ロカボ（糖質制限）スイーツ

日活：自炊・お弁当の習慣

●教育関連番組(日本語の普及)

フジテレビジョン：ミンダナオ国際大学の日本語教育を紹介

WAKUWAKU JAPAN：親子で楽しく学べる日本語教育番組



● 他社他局との連携の増加

系列ネットワーク局や同じ地域の局との連携が増加

- ・ 日活（日本テレビ系 四国4局）
- ・ 山形テレビ（テレビ朝日系 日本海側5局）

● 自治体との連携で企画を立案・実施

- ・ 須高ケーブルテレビ（台湾）
- ・ 長崎国際テレビ（タイ）

● 将来の自走化にむけた工夫や取り組み

- ・ 複数ヶ国での展開を狙ったスキーム作り（JET + JNN系列局）
- ・ 海外番販を視野に複数年かけてシリーズ化を実現（山陰中央テレビ）
- ・ 将来的なフォーマット展開を視野に入れた企画立案（日活）

● 現地のニーズを取り入れた企画開発

- ・ 日本側の「見せたいもの」と海外の視聴者が「見たいもの」のバランス
- ・ 共同制作体制の工夫（日本と海外の役割分担）



2. コンテンツ国際見本市での放送局支援

- **MIPCOM2018**

2018年10月15日～18日@フランス・カンヌ

- **ATF2018**

2018年12月5日～7日@シンガポール

- **NATPE2019**

2019年1月22日～24日@マイアミ

- **FILMART2019**

2019年3月18日～20日@香港

- **パビリオンの運営**

見本市への参加経験の少ない地方局等を対象に、ブースの提供、バイヤーとのマッチング・ネットワーキング等の場をセッティング

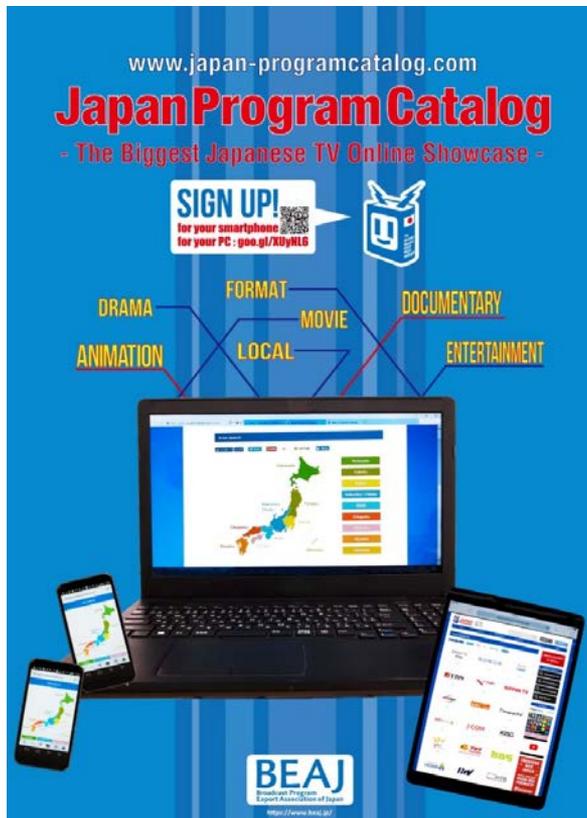
- **カンファレンス・イベントの支援**

日本コンテンツのプロモーションや海外バイヤーとのネットワーキングを目的としたイベントを開催。



● JAPAN Program Catalog (JPC)

海外販売向け放送コンテンツのオンラインカタログサービス。
海外向け放送番組の「ワンストップチェックサイト」



- 日本全国の放送コンテンツを見られる日本最大級のテレビ番組カタログサイト。放送事業者等にとっては海外に自社のコンテンツを紹介するオンラインカタログとして機能しており、現在35事業者が延べ800以上のコンテンツを掲載。
- エリア別、ジャンル別などでコンテンツの検索が可能。



4. 「BEAJ海外情報レポート」の発行



日本の放送コンテンツの海外展開を促進させることを目的に、ASEAN各国のメディアやコンテンツに係る最新情報を収集・分析。

- 各国の放送局シェア・視聴率ランキング
- 主要放送局の編成分析
- 編成・番組購入担当者インタビュー
- 日本との共同制作事例
- 現地開催の日本関連イベント紹介

【調査対象国】：6か国

					
インドネシア 2億5500万人	タイ 6572万人	フィリピン 1億98万人	ベトナム 9270万人	マレーシア 3119万人	ミャンマー 5141万人

【新規対象】：2エリア

	
台湾	香港

5. ローカル局等を対象とした研修会の実施

● BEAJ主催「放送コンテンツ海外展開セミナー」

今年度事業のテーマを盛り込んだ主にローカル局の海外ビジネス担当者を対象にしたセミナー
2018年9月13日（木）に開催、約100名が参加。

13:15～14:15	自治体と連携した海外向け情報発信	丸山康熙氏（須高ケーブルテレビ代表取締役社長） 福田誠司氏（長崎国際テレビ 総合企画室長）
14:30～15:15	ローカル局でもチャレンジ！ 海外見本市の番組販売における基本と工夫	小川秀樹氏（札幌テレビ 東京支社業務部次長）
15:15～15:45	海外番販のためのJPC活用法	上島亨氏（ステキ 代表取締役社長CEO）
16:00～16:30	ミャンマー-Dream Vision Companyの概要 とコンテンツ募集概要説明	山本浩氏（Dream Vision Company スペシャルアドバイザー）



5. ローカル局等を対象とした研修会の実施

● BEAJ主催「放送コンテンツ海外展開セミナー」第2回開催予定

2019年2月21日（木）13:00～17:00@東京・神田

1	一歩先を目指す海外展開① 「複数地方局連携による海外展開のノウハウ紹介」	大分放送 メディア局テレビ編成部 工藤洋史氏 高知放送 営業局営推事業部 コンテンツビジネス担当 竹下誠一氏
2	一歩先を目指す海外展開② 「海外目線での番組作り ～同じ番組を国内と海外で同時放送するノウハウ紹介」	テレビ新広島 東京支社 営業部 副部長 亀井琢也氏
3	ミャンマー・日本の地方番組特集枠 「Happy Japan」を成立させる過程で得られた ノウハウ・知見紹介	BEAJ事務局次長 長生啓
4	海外契約交渉の手引き 見本市から契約締結までの流れと注意点	BEAJ事務局長 君嶋由紀子

御清聴ありがとうございました